

エネルギーセンターの概要と 視察のポイント

1. エネルギーセンターの概要



- ◆ 階 数：4階建て
- ◆ 延床面積：4,388m²
- ◆ 建設費：約3,490百万円
- ◆ 工事期間：令和5～6年度

2025.8.25
供用開始

2. エネルギーセンター設立の背景

南海トラフ巨大地震の最大津波高 (+6.5m)

※2013年愛媛県地震被害想定調査結果（第一次報告）より

地下に設置されているエネルギーインフラが浸水

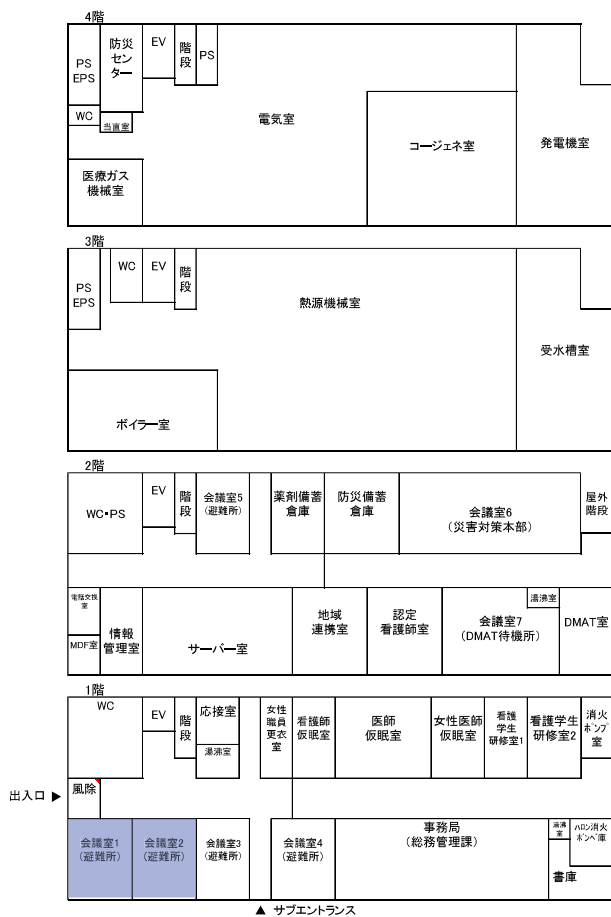


病院機能の大半を喪失&機能不全



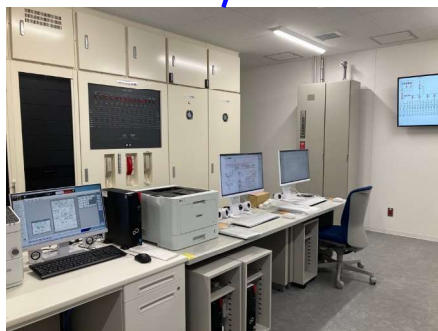
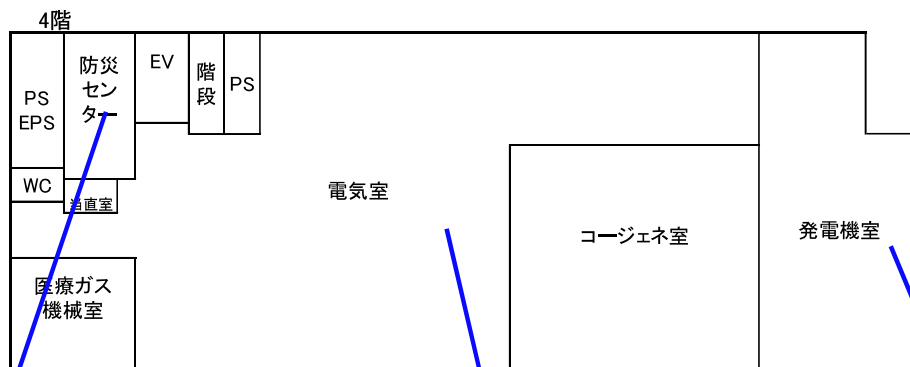
**災害拠点病院・南予圏域の中核病院として
災害医療への甚大な影響**

3. 平面図及び主な整備設備



階数	主な整備設備
4 階	・非常用発電機室 ・コージェネ室 ・医療ガス機械室 ・防災センター
3 階	・ボイラー室 ・熱源機械室 ・受水槽室
2 階	・会議室（災害対策本部） ・DMAT待機所 ・防災備蓄倉庫 ・サーバー室 ・地域連携室
1 階	・事務局 ・会議室兼避難所 ・看護学生研修室 ・職員仮眠室

4. 視察のポイント（4階）



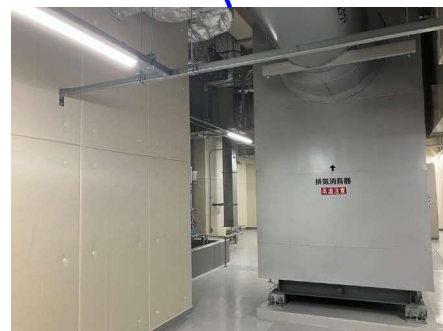
＜防災センター＞

- ・浸水時に非常用電源により医療行為を継続している間、火災等の監視制御機能を維持するため新設。



＜電気室＞

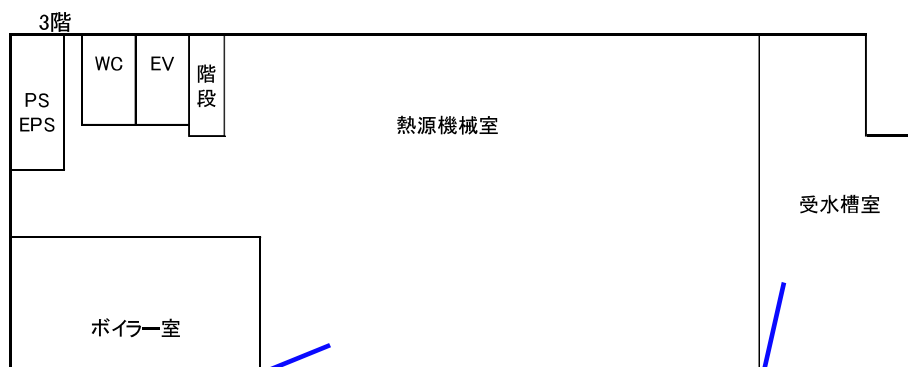
- ・浸水時に病院機能を維持可能な受変電設備、直流電源装置、無停電電源装置を移転。



＜発電機室＞

- ・浸水時に最低限必要な医療電源などの確保のため移転。発電機容量は既存負荷容量に余裕がないため、1750KVAに増加。

4. 視察のポイント（3階）



＜熱源機械室＞

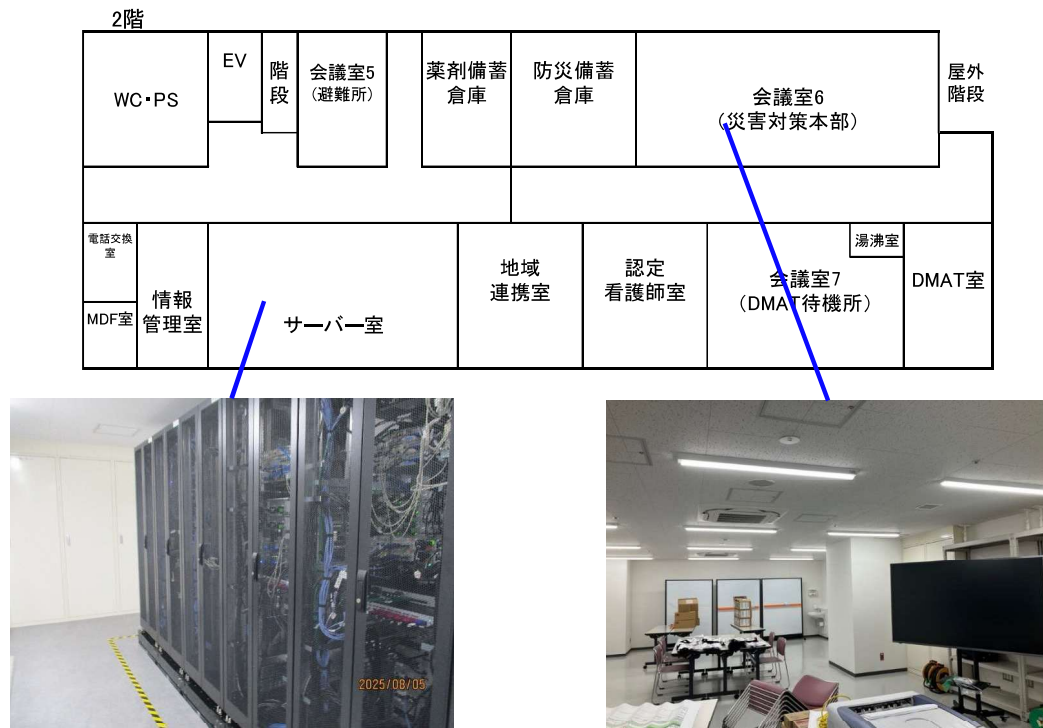
- ・将来移転分を含んだ容量で、空調用の冷温水を統合分配するヘッダー及び配管を新設。



＜受水槽室＞

- ・浸水時に病院機能を維持するのに必要となる上水確保のため、現状と同じ容量で移転。

4. 視察のポイント（2階）



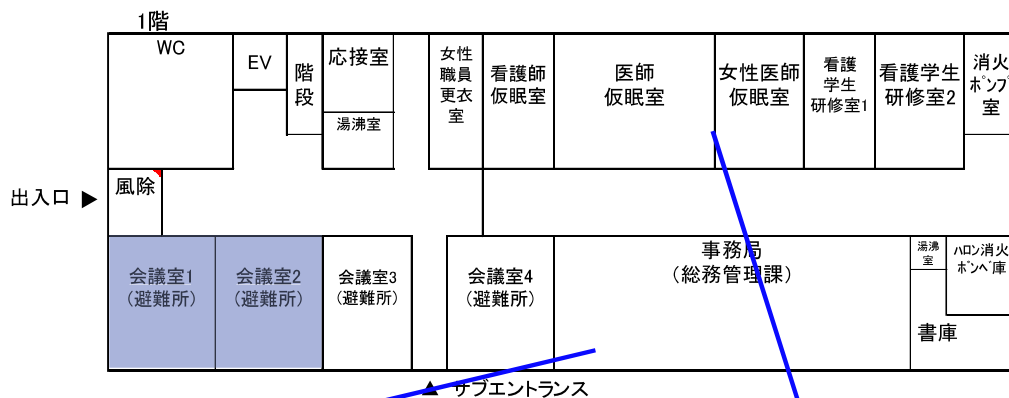
＜サーバー室＞

- ・浸水時に非常用電源により医療行為を継続している間、電子カルテやナースコールなどを維持するため新設。

＜会議室 6（災害対策本部）＞

- ・災害対策本部設置場所を新設。通常時は会議室として活用。

4. 視察のポイント（1階）



＜事務局（総務管理課）＞

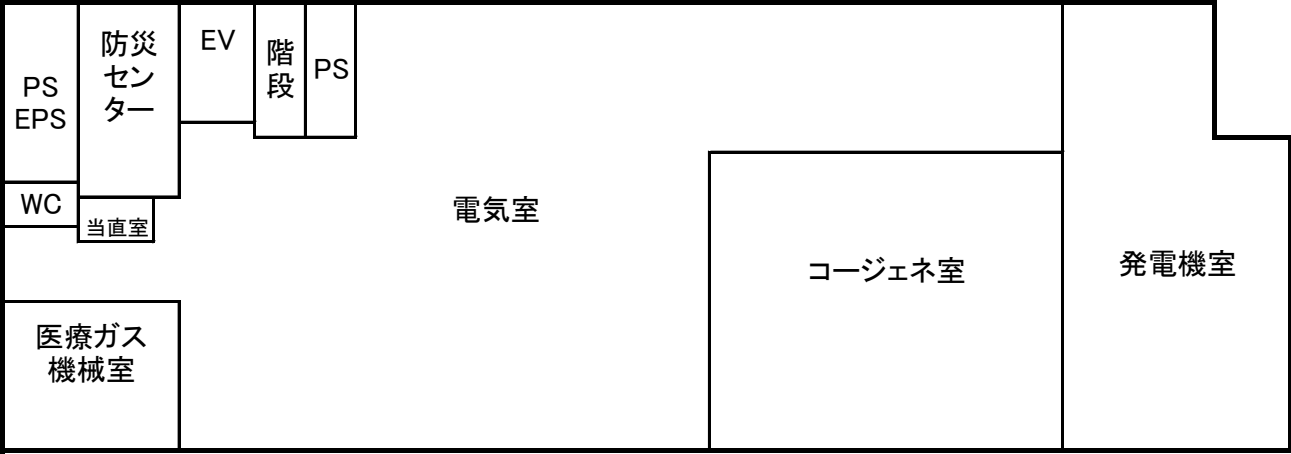
- ・研修医室拡充のため事務局を移転。

＜医師仮眠室＞

- ・医師・看護師の就業環境改善のため仮眠室を新設。

エネルギーセンター平面図

4階



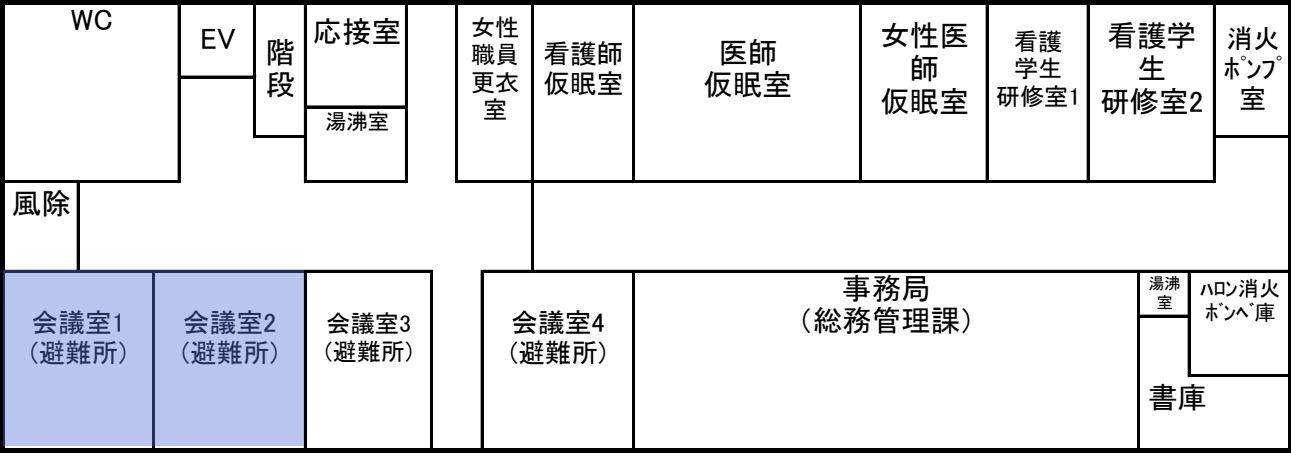
3階



2階



1階



出入口 ▶

▲ サブエントランス